



Online Intensive English Course 2026

集中オンラインコース 2026

英語での情報読解・情報発信スキルを、英語で学ぶ:

世界を視野に、課題解決に挑戦する基盤としての英語コミュニケーション能力を高める

2か月間の集中オンラインコース

2026 年度

募集要項

国立大学法人 宮崎大学

国際連携機構

2026年6月作成



1. 集中オンラインコースの概要

1.1. 趣旨

国際化が進み、構成員が多様化する社会において、さまざまな国籍、言語的・文化的背景を有する人々と積極的に交流し、アイデアを共有したり、協働したりしながら、複雑化する社会課題・地域課題の解決に挑む人材が求められています。

こうした人材、すなわち、世界を視野に入れ、国や地域を越えて課題解決に挑む人材にとって必要な基盤的能力の一つが、英語による情報読解力と情報発信力です。AI 技術の発達により、言語の壁というコミュニケーション上のハードルは大きく下がりつつあります。しかし、このような時代だからこそ、自らの言葉で考えを伝え、相手との信頼関係を築きながら、説得力を持ってコミュニケーションを行う能力の重要性が高まっています。このような背景から、英語で書かれた情報を正確かつ効率的に理解し、理解した内容や自分自身の考えを効果的に英語で発信する能力を育成することを目的として、本集中オンラインコースを実施します。

本コースでは、アメリカのペンシルベニア州立インディアナ大学 (Indiana University of Pennsylvania, IUP) の教員や学生チューターとの双方向型の英語コミュニケーションを中心に学習を進めます。その過程を通じて、アカデミックライティングのスキル向上に加え、実践的な英語運用能力や異文化理解力の向上も目指します。

さらに、本コースは、エネルギー問題を含め、持続可能な社会づくりに向けて、地域に根差した課題解決に挑む人材育成を目指す「大学の世界展開力強化事業」(通称SEKATEN)の一環として実施します。本コースでは専門的な知識そのものを扱うものではありませんが、国際的な視点から社会課題について考え、自らの意見を発信する力を養うため、履修者によるプレゼンテーションテーマの一部としてSDGsなどを取り上げる予定です。

また、SEKATEN は、日本、アメリカ、韓国、台湾の 10 大学の連携により実施している国際教育プログラムです。本コースは、アメリカ、韓国、台湾への海外短期留学に向けた事前準備としての位置づけも有しています。そのため、本コース修了者は、来年度実施予定の短期留学プログラムの選考対象となります(参加の可否や派遣先については、本人の希望を確認した上で、本コースの成績等により決定します)。

1.2. 受講日程

実施期間: 2026年8月7日(金)～9月25日(金)の平日

- ・ IUPによる講義: 月曜日～木曜日
- ・ 宮崎大学によるフォローアップ・質問対応(任意参加): 金曜日

受講時間: 20:30～22:00(日本時間)

※詳細は末尾の授業カレンダーを参照

1.3. 定員

40名程度(2～3のクラスに分けて授業を実施します)

1.4 受講料

無料



2. 募集・選考概要

2.1. 募集期間

2026年6月12日(金)~7月5日(日)

ただし、定員に余裕がある場合、追加募集を受け付ける可能性があります。

2.2. 受講対象の学生

以下の要件を全て満たす者

- 宮崎大学、南九州大学、宮崎国際大学または宮崎学園短期大学に在籍する正規の学生であること(留学生や大学院生の参加可否については、所属大学により判断が異なる可能性があるため、所属大学の担当者にお尋ねください。)
- 英語による授業に参加できるレベルの英語力がある者。統一的な基準は設定しないが、目安として、CEFR B1(英検2級程度、TOEIC575程度)以上であることが望ましい。
- 異文化理解や英語でのコミュニケーションに関心と意欲を有する者。

2.3. 説明会

参加申し込みには当たっては、説明会への出席を必須とします。説明会の日程は、別途案内します。

2.4. 応募方法

以下の書類を、電子ファイルで、**2026年7月5日(日)**までに所定の提出先(クラウド上の提出フォルダ)に提出してください。提出先は別途案内します。

- ① 申込書
- ② 英語力を示すスコアシート(英検や TOEIC、GTEC、TOEFL、IELTS などのスコアが分かるもの。スクリーンショットでも可)

※ ②は必須ではありませんが、2.5.に記載のとおり、原則として英語力に基づき選考するため、スコアシートの提出を推奨します。

2.5. 選考

原則として英語力に基づいて選考を行います(選考上、スコアシートを提出した人が、提出しない人より優先されます)。しかし、意欲(動機)を考慮する場合があります。

選考結果は2026年7月10日(金)頃に通知予定です。その後、1週間ほど猶予を設け、最終の受講意思確認を行います。



3. 講義日程とカリキュラム

3.1. 形態

Zoom によるオンライン授業

3.2. 必要なもの

PC、スマートフォン (IUP の学修支援システムにログインする際の本人認証で、スマートフォンが必要です)。

3.3. 受講日程

1.2.のとおり。

3.4. 授業内容

大きく、以下の三つのパートに分かれます。

① Academic Literacy

アメリカの大学への入学者の必修事項であるアカデミックライティングの基礎を、IUP の講師から学びます。「ライティング」と言っても、英作文ではありません。英語で書かれた文章の批判的な読み方、効果的なプレゼンテーションの仕方、主張の組み立て方など、英語でのコミュニケーションに必要なスキルを幅広く学習します。単に講義を聞くだけでなく、実際に文章を書いたり、プレゼンテーションをしたりする機会が数回あります。授業は、講師と受講生の双方向のやりとりを通じて進めます。

※ 所属するクラスによって、月曜日および水曜日に開講するパターンと、火曜日および木曜日に開講するパターンに分かれます。

② ACE (American Culture and English) Tutoring

IUP の学生チューターと日本側の学生が、概ね 1 対 2 の比率でグループを作り、少人数のディスカッションを行います。学生チューターの役割は、受講生が Academic Literacy の履修内容を正確に理解し、課題(プレゼンテーションなど)を準備するのをサポートすることです。学生チューターは、IUP の正規の学生ですが、アメリカで生まれ育った人もいれば、他国からの留学生もいます。ディスカッションを通じて、Academic Literacy への対応だけでなく、異文化を理解し、自分の国や文化を再認識することも目指します。なお、学生チューターは授業期間中、原則として固定です(やむを得ない休暇等により、臨時に別のチューターが付く可能性もあります)。

※ ①の授業日程に応じて、月曜日および水曜日に開講するパターンと、火曜日および木曜日に開講するパターンに分かれます。

③ 宮崎大学によるフォローアップ・質問対応

履修内容の理解を補助するため、宮崎大学の教員による、一週間の振り返りと質問受付のための講義を設けます。この講義は日本語で行い、参加は任意です。※ 金曜日に実施します。



3.5. 英語テスト

本コースの前後に、IUP が提供するオンライン英語試験 (Michigan-EPT) および TOEIC L&R IP テスト (オンライン) を受験します。これらのテストの成績は、受講生各自の学修目標の設定や英語力の伸びの確認、および本コースの成果検証に使用するものであり、単位認定や成績評価には一切影響しませんが、受験は必須です。

また、2026 年度は、本人の希望および本コース実施前に受験する Michigan-EPT の試験結果に基づき、Academic Literacy のクラス編成を行う予定です。

4. 実施規則

以下の実施規則を遵守することが、申し込みおよび参加の条件ですので、よくご確認ください。

- 受講に先立ち、IUP の学修支援システムへの登録や IUP への書類提出など、事務的手続きが発生する。このことをよく理解し、IUP とのやりとりを、主体的に、英語で行う。
- IUP 講師や IUP の学生チューターとのディスカッションに積極的に取り組むとともに、75%以上出席する。欠席する場合は、事前に科目担当の IUP 講師 (※宮崎大学の担当教員ではない) に連絡する。
- 講義中は、やむを得ない事情がある場合を除き、カメラをオンにする。また、事前に IUP 講師の許可を得た場合を除き、途中退席をしない。
- IUP 講師が出す課題は、提出期限までに提出する。
- 受講に関する問題が生じた場合は、速やかに宮崎大学の担当教員または所属大学の担当者に連絡する。

5. 成績評価

課題の提出や講義への参加態度に基づき IUP 講師が行う評価を踏まえ、宮崎大学の担当教員が成績を評価します。

評価の観点や配点の詳細は、8/7 (金) のオリエンテーションでお知らせしますが、現時点での検討状況をお示しすると、以下のとおりです。

【案】

- Academic Literacy の課題 … 50~60%
- ACE Tutoring への参加状況 … 20~30%
- 事前、事後の英語テストの受験状況 (※点数ではない) … 5~10%
- 全体を通じた参加態度 (特に顕著な場合に加点) … 5~10%

6. 履修および出席状況の確認

修了するためには、75%以上の出席が必要です (出席率の算定対象は、IUP による講義のみです)。

やむを得ない事情があり欠席する場合は、事前に、IUP 講師 (※宮崎大学の担当教員ではない) に申し出てください。



7. 修了証・単位

本コースの修了者には、IUP から電子修了証が授与されます。

また、学部学生に対しては、教養教育科目（SPARC 連携開設科目）「英語で学ぶ 21 世紀における国際的な GX の取り組み」の 4 単位が付与されます。

8. その他注意事項

本コースの修了者は、来年度に実施予定の短期留学派遣の選考対象になります。本コース成績（※英語力ではない）に基づき、来年度の短期留学参加者を選考します。

派遣先は、アメリカに加え、韓国・台湾のいずれかまたは両方を予定しています。派遣に当たっては、費用の一部を大学が支援する予定ですが、来年度の予算状況や派遣先、受講生の成績・国籍・家計等の状況によって、その範囲は異なります。詳細は、個別にお問い合わせください。

【問い合わせ先】

宮崎大学国際連携機構 世界展開力強化推進本部 sekaten@miyazaki-u.ac.jp



授業カレンダー(予定)

※変更の可能性があるので、必ず、履修開始前に配布される最終版のカレンダーをチェックしてください。

月	火	水	木	金	土	日
				8/7 宮崎大学によるオリエンテーション	8/8 英語テスト受験システム設定	8/9
8/10	8/11 クラス分けシステム設定	8/12 IUP 講義	8/13 IUP 講義	8/14 IUP によるオリエンテーション	8/15	8/16
8/17 IUP 講義	8/18 IUP 講義	8/19 IUP 講義	8/20 IUP 講義	8/21 宮崎大学フォローアップ	8/22	8/23
8/24 IUP 講義	8/25 IUP 講義	8/26 IUP 講義	8/27 IUP 講義	8/28 宮崎大学フォローアップ	8/29	8/30
8/31 IUP 講義	9/1 IUP 講義	9/2 IUP 講義	9/3 IUP 講義	9/4 宮崎大学フォローアップ	9/5	9/6
9/7 オンデマンド対応(米国祝日)	9/8 IUP 講義	9/9 IUP 講義	9/10 IUP 講義	9/11 宮崎大学フォローアップ	9/12	9/13
9/14 IUP 講義	9/15 IUP 講義	9/16 IUP 講義	9/17 IUP 講義	9/18 宮崎大学フォローアップ	9/19	9/20
9/21 IUP 講義	9/22 IUP 講義	9/23 IUP 講義	9/24 IUP 講義	9/25 まとめ・振り返り	9/26	9/27

講義時間：20時30分から22時00分(日本時間)の90分間